

新嵐山活用計画の進ちょく状況

1 新嵐山活用計画「リユラル イン ザ・スカイパーク」を策定

昨年3月(令和2年3月)に計画を策定しました。

この計画では、新嵐山のエリア全体を一つの宿として捉え、ビジョンに基づくテーマに沿ったフィールドづくりを示しています。

この計画に関する公共投資については、原則、年間を通して集客が見込めるフィールドに関するものを優先して、順次実施していく考えです。

新嵐山活用計画とは？



↑スマートフォン等のカメラやQRコードアプリをかざしてご覧ください。

2 活用計画の進ちょく状況 ～ここがこう変わる～

(1) 春先～秋までのグリーンシーズン

① キャンプエリアを本格的に設置します

・令和2年(2020年)には、パークゴルフ場がある場所で、ワンデイキャンプなどのキャンプ事業を試行し、1,000名を超える利用がありました。この結果を踏まえ、春からは本格的にキャンプエリアを設置し、パークゴルフ場は2コースへ縮小します。

・休憩舎ヤスモットの水回りなどを改修し、快適なキャンプエリアにしていきます。

・初心者でも楽しめるグランピングとして好評のパオ型 TENT を増やし、「森に泊まる」選択肢を増やしていきます。



パオ型TENT



② キッズパークを整備します

・令和3年度には、子どもたちが楽しめるよう常設の遊具の設置や池の活用をしていきます。



池の活用や遊具のイメージ



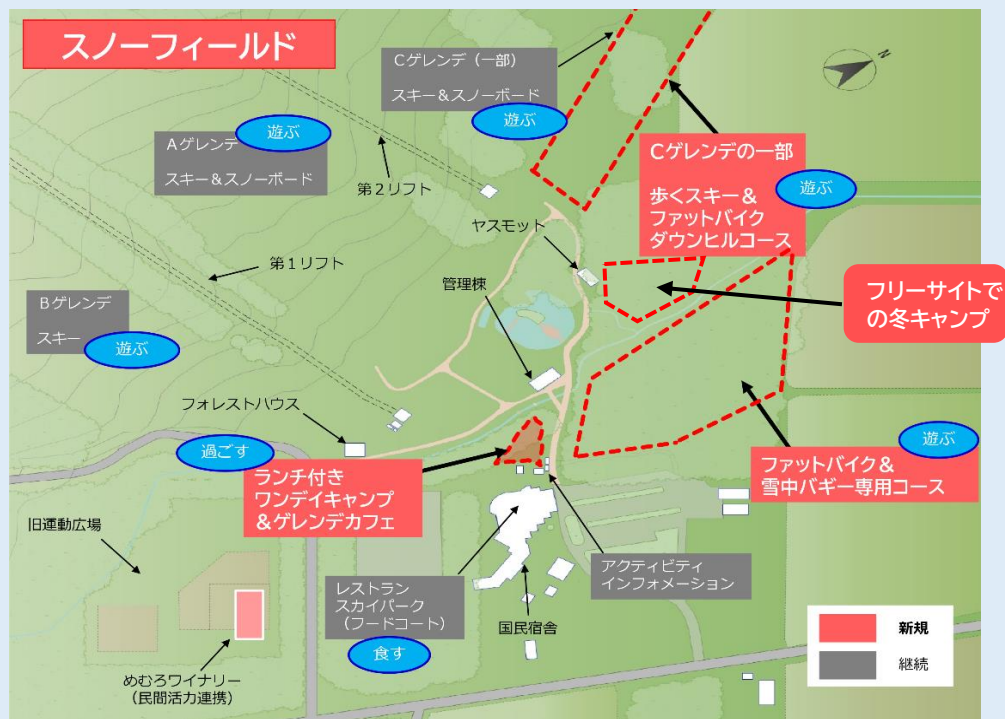
民間活用としてスタートしためむろワイナリー(株)によると、令和2年産ブドウのワインが今年の初夏からお目見えするとのことです。今後にも期待できます。



(2) スキーシーズン

- ・今シーズンから、スキー・スノーボードだけではなく、雪山の色々な楽しみ方を体験していただけるよう、たき火コンテンツやランチ付きワンデイキャンプ、ファットバイク、4輪バギー、フリーサイトでの冬キャンプなどを実施しています。
- ・今後も、民間活用も実施しながら、さまざまな楽しみ方・アクティビティを充実させていきます。

・また、今後については、リフトの改修も実施していく予定であり、リフトの改修に合わせて、夏場のリフト運行や、展望台の活用、リフトを生かしたジップラインの導入などもセットで検討を進めていきます。



(3) そのほかの活用計画に基づく進ちょく

【今後、活用を検討していくもの】

① レストランのリニューアル

芽室町の食材発信として、地域性を生かしたコンセプトレストランをイメージしており、機能の見直しや、場所の見直しをしています。

また、メニューについては、芽室産食材を中心に鮮度・ボリューム・価格・調理方法など「ここが産地なんだ」と実感できるものを提供できるよう、随時見直しをしています。

② 宿舎(客室)のリニューアル

客室の数の見直しを検討していましたが、宿泊棟そのものの建て替えについても検討を進めます。

③ キャンピングエリアのさらなる充実

・現状は、フリーサイト、ワンデイキャンプ、グランピングの3種類を楽しめますが、オートサイト(電源設備なども整っていて、車を横付けできるキャンプサイトのこと)の整備を進めます。

・冬期間の営業の充実やエリアの拡大として、フォレストハウス周辺の活用についても検討を進めます。

④ 展望台の充実

・キッチンカーによる賑わいや、展望デッキを整備するなどの検討を進めます。